

下原委員（草莽の会）

平成30年3月12日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）広島叡智学園の校長について

来年4月の開校に向けて、できるだけ早期に校長を決定することが望ましいと考えるが、いつ頃、校長を決定しようとしているのか、また、どういった人材を登用しようとしているのか、併せて教育長に伺う。

（答）

広島叡智学園には、目指す理念を実現できる校長の確保が極めて重要であり、有識者の方々にも御協力をいただきながら、現在、慎重に選定作業を進めているところであります。今年度中、3月中には校長を決定したいと考えております。

また、校長には、学校の理念、教育への深い理解や、先進的な教育を絶えず研究・開発・実践し続ける力などの資質・能力はもとより、国内外の様々な機関とのネットワークを構築する力や、卓越したリーダーシップと組織マネジメント能力などが求められるものと考えております。